

お客様:大手流通業

企業規模

- 業種:流通業
- グループ連結売上2,500億円(2017年度実績)

プロジェクトの目的

- グループ会社への共通経理システム導入
- 連結経営管理の強化
- グループガバナンスの強化

お客様が抱える課題・問題点

- 経営管理業務の煩雑さ
- システム老朽化による柔軟性の低下、性能の劣化

問題解決の方向性

- オラクル社のERPパッケージ(SaaSモデル)を採用
ERP Cloud GL、AP、AR、FAの採用
- DIVA社のSMDを連結経営管理に適用

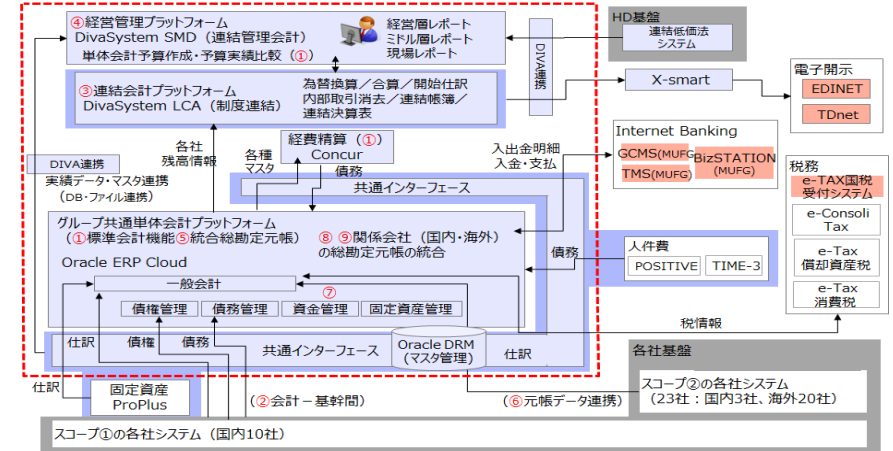
期待効果

- 共通システム導入および標準化による決算早期化の実店
- 科目追加などによる業務運用の手間の軽減
- 非財務データを含む連結経営管理の高度化

ERP Cloudオラクルソリューションを選ばれた理由

- HW費用が不要となり初期コストが抑えられる
- 老朽化対応が不要となり、保守コストが抑えられる
- (オンプレ ERP製品と比較して)レポート・自由分析機能が充実

ソリューションイメージ



プロジェクト規模

- 導入モジュール:
 - Financial Cloud(GL, AP, AR, FA)
 - Oracle Business Intelligence Enterprise Edition(OBIEE)
- 使用ユーザ数: 約100ユーザ

その他(Why IBM?、期待効果、その他特記事項)

- Why IBM ?
 - ERP Cloudの構築・導入支援の実績
 - 海外子会社を含むチェンジマネジメントの実績

お客様:化学製造業

企業規模

- 業種:化学製造業
- 売上高:2,118億円 経常利益:19億円(2017年度実績)
- 従業員数:5,708名

プロジェクトの目的

- 基幹ERPシステムの海外子会社展開 標準テンプレート構築
- 各拠点の売上/収益性/品質など精度の高い情報をタイムリーに参照・分析できること

お客様が抱える課題・問題点

- 各拠点で間接部門要員が少ないなかでの業務効率化
- 内部統制の各社各様の不均質性
- 中国語、インドネシア語などへの多言語対応

問題解決の方向性(第一ステップ)

- 対象拠点を統合的に管理し、業務標準化と効率化支援が可能
- 拠点展開、M&A、社外連携、新製品/新事業対応など事業環境の変化・拡大への対応
- 本社からの拠点業務を参照でき、必要な支援や統制が行える

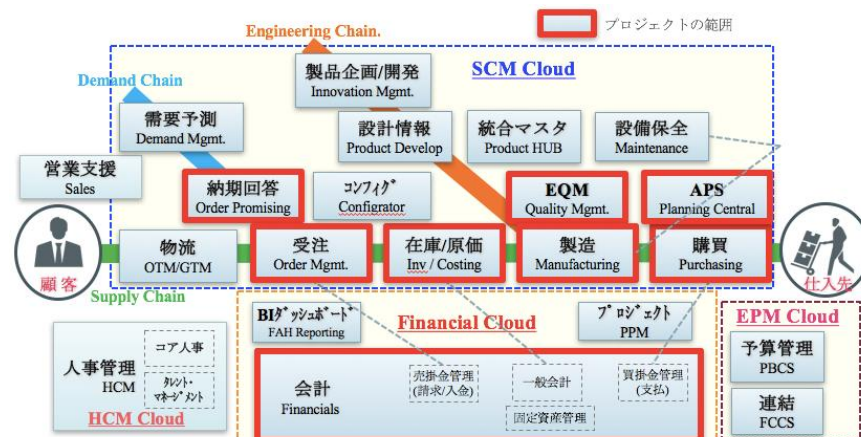
期待効果

- 共通システム導入および標準化による決算早期化の実現
- 科目追加などによる業務運用の手間の軽減
- 非財務データを含む連結経営管理の高度化

ERP Cloudオラクルソリューションを選ばれた理由

- 導入手法テンプレート使用により導入コスト、期間の削減
- システムの保守サポートを一元化すると共に、サポート切れ対応やバージョンアップからの解放
- IRFS・複数会計基準対応、多通貨・多言語対応の実績

ソリューションイメージ



プロジェクト規模

- 導入モジュール:
 - Financial Cloud, Purchasing Cloud, Inventory Management Cloud, Order Management Cloud, Manufacturing Cloudその他上記図参照
- 使用ユーザ数:約100ユーザ(各拠点展開時想定)
- 導入期間(海外子会社向けテンプレート作成):8ヶ月

その他(Why IBM?、期待効果、その他特記事項)

- Why IBM? (協業プロジェクトにてIBM社より導入コンサルタントが参画)
 - Oracle EBS導入における豊富なプロジェクト実績とノウハウ
 - コンサルタントとしてのグローバル案件の経験

お客様: 大手生命保険業

企業規模

- 業種: 保険業
- 経常収益: 10,006億円 経常利益: 175億円(2017年度実績)
- 従業員数: 2,588名

プロジェクトの目的

- IFRS制度への確実な対応
- 法・制度・規制改正に対する柔軟性の確保
- 保守性の向上 ● 電子帳簿への対応 ● 決算事務早期化

お客様が抱える課題・問題点

- IFRS保険契約 IFRS17号(2018/5にIFRS4号からに名称変更)運用開始(2021/1)に対するシステム対応が必要
- 決算対応期間短縮化の当局のリクエストへの対応が求められる

問題解決の方向性

- オラクル社のERPパッケージ(SaaSモデル)を採用
ERP Cloud GL帳簿(仕訳・残高の一元管理、複数帳簿・会計基準対応)
ERP Cloud CE口座管理(外貨口座入出金の一元管理、外貨支払との実差確認)

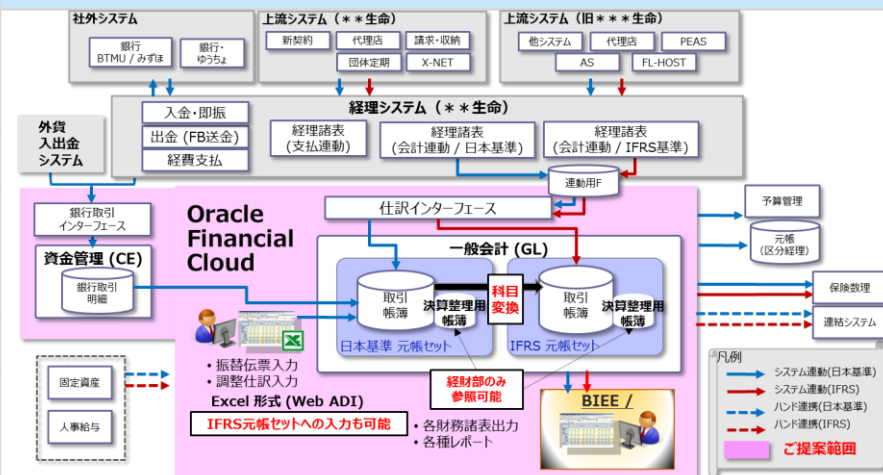
期待効果

- グローバル基準であるIFRS対応済みのERP Cloudを活用することにより、標準化/最適化が促進
- 実績のあるCloudサービスを採用することにより、安定稼働、柔軟な資源割振り、老朽化対応からの解放が実現

ERP Cloudオラクルソリューションを選ばれた理由

- HW費用が不要となり初期コストが抑えられる
- 老朽化対応が不要となり、保守コストが抑えられる
- (オンプレ ERP製品と比較して)レポート・自由分析機能が充実

ソリューションイメージ



プロジェクト規模

- 導入モジュール:
 - Financial Cloud(GL,CE), Oracle Business Intelligence Enterprise Edition(OBIEE)
- 使用ユーザ数: 約300ユーザ
- 導入期間: 24ヶ月
(要件定義: 6ヶ月、設計・開発: 9ヶ月 ※進行中、テスト: 6ヶ月、移行: 3ヶ月)

その他(Why IBM?、期待効果、その他特記事項)

- Why IBM ?
 - 同社の親会社での会計システムの構築・導入支援の実績
 - 他の国内大手損保・大手生保を中心に、会計システム(日本基準/IFRS両方)、およびIFRS17号対応(BBA/PAA/VFAの導入や導入に際してのPoC)のシステム構築・導入支援の実績